

2006年3月期 決算説明会



新日本無線株式會社

2006年5月11日

06年3月期 損益計算書(連結)

[単位：百万円]

	05年3月期	06年3月期	前年度比	
			金額	増減率
売上高	65,053	60,332	△4,720	△7.3%
売上原価	50,113	47,243	△2,870	
販売費及び一般管理費	11,336	11,334	△1	
営業利益	3,602	1,754	△1,847	△51.3%
営業外収益	559	212	△347	
営業外費用	187	155	△31	
経常利益	3,975	1,811	△2,163	△54.4%
特別損益	△34	△70	△37	
税金等調整前当期純利益	3,941	1,740	△2,200	△55.8%
法人税, 住民税及び事業税等	1,372	622	△749	
当期純利益	2,569	1,118	△1,450	△56.5%

2006年5月11日

新日本無線株2006年3月期 決算説明会

1

06年3月決算トピックス

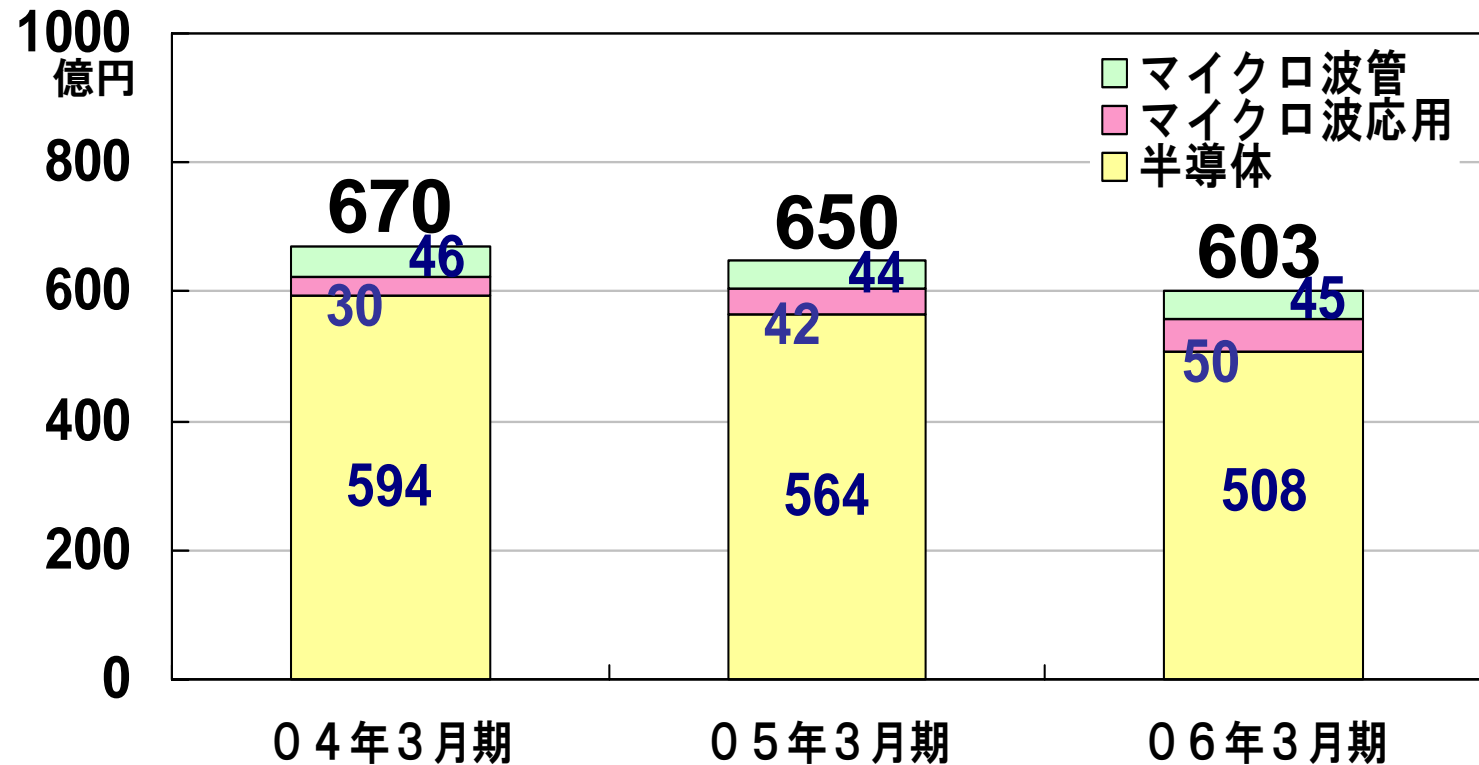
◆半導体部門低調

- ・バ体ラハアツ、コパレタ低調 (前年度比 $\Delta 13.6\%$)
- ・バ体ラオーディオ/ビデオ用IC低調 (前年度比 $\Delta 18.2\%$)
- ・受託生産品(NJR福岡)低調 (前年度比 $\Delta 22.6\%$)
- ・マイクロ波デバイス低調 (前年度比 $\Delta 19.6\%$)
- ・光半導体デバイス好調 (前年度比 $+37.1\%$)
- ・新製品売上比率の減少 (単体)
(05年3月期 19.9% →06年3月期 18.9%)

◆マイクロ波応用製品部門好調

- ・衛星通信用コパレタ製品好調 (前年度比 $+35.0\%$)

06年3月期 事業部門別売上高(連結)



	04年3月期	05年3月期	06年3月期
マイクロ波管	46	44	45
マイクロ波応用	30	42	50
半導体	594	564	508
合計	670	650	603

06年3月期 設備投資等(連結)

[単位：百万円]

	05年3月期	06年3月期	前年度比	
			金額	増減率
設備投資	3,958	2,714	△1,244	△31.4%
減価償却費 (有形・無形)	4,466	4,285	△180	△4.1%
試験研究 開発費	6,198	6,304	106	1.7%

06年3月期 貸借対照表(連結)

[単位：百万円]

	05年3月期	06年3月期	増 減
資産合計	59,924	58,912	△1,012
流動資産	36,452	36,422	△30
現金／預金	3,659	4,627	968
受取手形／売掛金	16,330	15,502	△827
たな卸資産	14,884	14,914	29
その他	1,578	1,377	△200
固定資産	23,472	22,490	△981
有形固定資産	17,130	15,739	△1,390
無形固定資産	244	244	0
投資その他の資産	6,098	6,506	408

06年3月期 貸借対照表(連結)

[単位：百万円]

	05年3月期	06年3月期	増 減
負債及び資本合計	59,924	58,912	△1,012
負債合計	36,907	34,578	△2,329
流動負債	26,892	24,378	△2,513
支払手形／買掛金	7,303	8,345	1,042
短期借入金	11,404	9,677	△1,726
一年内返済予定の長期借入金	710	210	△499
その他	7,474	6,144	△1,329
固定負債	10,015	10,199	184
長期借入金	380	441	61
退職給付引当金	8,869	9,238	368
その他	765	520	△244
資本合計	23,016	24,333	1,316

07年3月期 事業計画前提条件

連結 06年3月期売上実績:603億円→ 07年3月期売上計画:640億円(6.1%増)

マイクロ波関係		対前年比
マイクロ波管	官需減少	10.1%減
マイクロ波応用	衛星通信用コンポーネント製品売上微減	1.2%減

半 導 体		対前年比
全 体	新製品売上比率向上	8.2%増
デバイス	GaAs IC新規採用計画、 光半導体デバイス製品販売増	45.0%増
バイポーラ	オペアンプ・コンパレータ減少、 電源IC、オーディオ/ビデオ用IC販売増	0.1%減
モ ス	水晶発振器用IC、DSP、 オーディオ/ビデオ用IC販売増	25.9%増

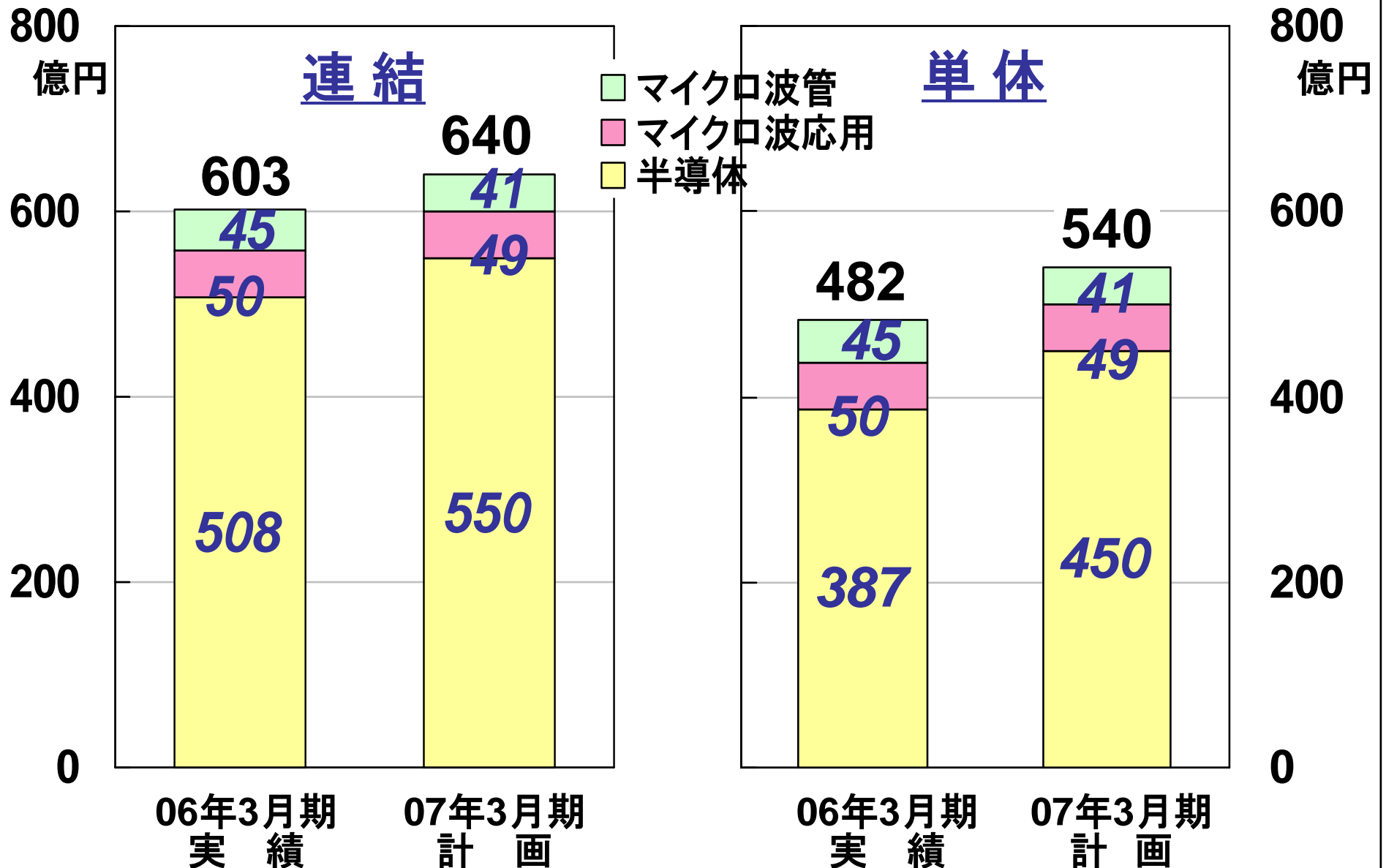
計画為替レート ¥110.00 / US\$

07年3月期 事業計画(連結)

[単位：百万円]

	06年3月期 実績	07年3月期 計画	対前年比	
			金額	増減率
売上高	60,332	64,000	3,668	6.1%
売上原価	47,243	49,200	1,957	
販売費及び一般管理費	11,334	12,000	666	
営業利益	1,754	2,800	1,046	59.6%
営業外収益	212	100	△112	
営業外費用	155	100	△55	
経常利益	1,811	2,800	989	54.6%
特別損益	△70	△100	△30	
税金等調整前当期純利益	1,740	2,700	960	55.2%
法人税, 住民税, 事業税等	622	900	278	
当期純利益	1,118	1,800	682	60.9%

07年3月期 事業部門別売上計画

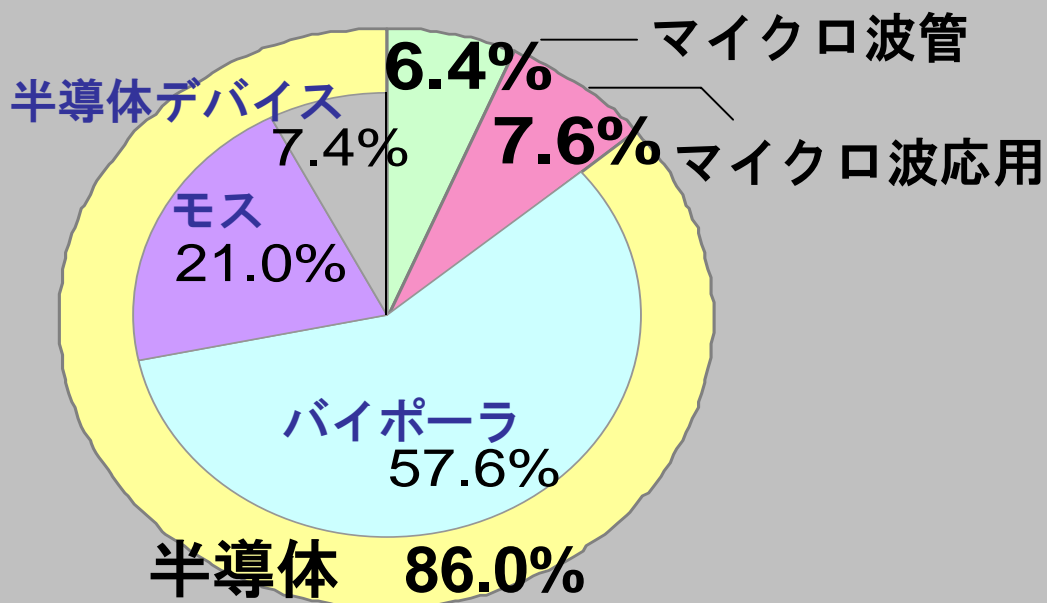


07年3月期 事業部門別売上比率

〈計画〉

〈売上高〉	連結		単体	
マイクロ波管	41 億円	6.4%	41 億円	7.6%
マイクロ波応用	49 億円	7.6%	49 億円	9.1%
半 導 体	550 億円	86.0%	450 億円	83.3%
合 計	640 億円	100.0%	540 億円	100.0%

〈連結〉



07年3月期 設備投資等計画(連結)

[単位：百万円]

	06年3月期 実績	07年3月期計画			対前年比
		上期	下期	通期	増減率
設備投資	2,714	2,942	2,004	4,946	82.2%
減価償却費 (有形・無形)	4,285	1,867	2,501	4,368	1.9%
試験研究 開発費	6,304	3,304	3,461	6,765	7.3%

製品展開（マイクロ波製品）

マイクロ波管

マイクロ波電子管
船舶レーダ用マグネトロン→次期スプリアス規制対応（不要輻射抑制）
カソード及び電子銃

マイクロ波応用製品

衛星通信コンポーネント （送受信ユニット）	地上通信コンポーネント （送受信ユニット）	センサモジュール
*小型／省電力化 *高出力／高効率	*WIPAS *地上波デジタル放送用	*動体検知 →静体検知/測距 *車載センサ

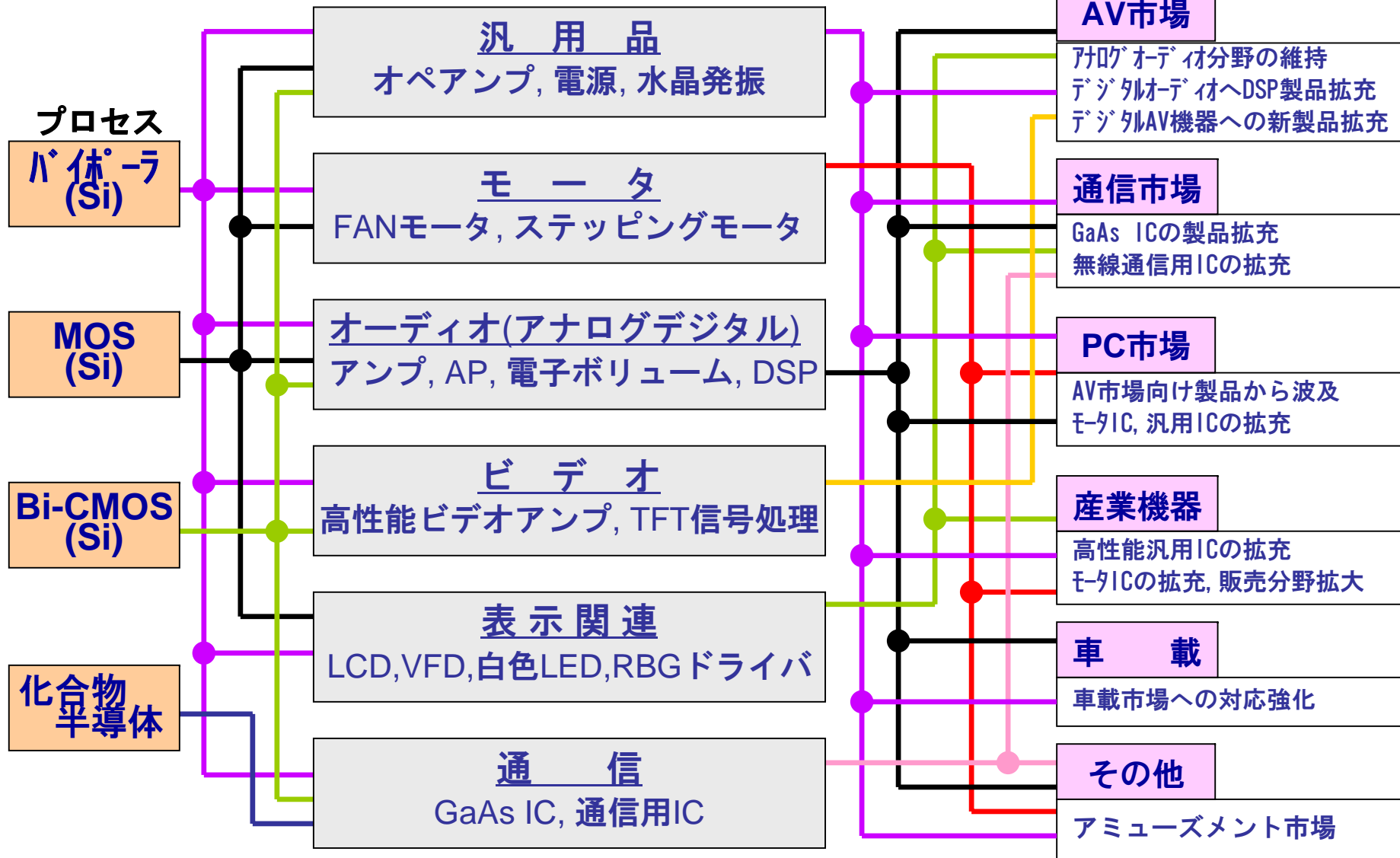
製品展開（半導体製品）

バイポーラ・モスIC		
オペアンプ	電源 IC	モータ用 IC
入出力フルスイング、 低消費電力 (デジタル機器、産業機器) 超高速、高精度 (産業機器)	LDO／ボルテージディテクタ、 スイッチングレギュレータ、 充電制御用 (リチウムイオン電池)、 低電圧動作、大電流対応、 アプリケーション別複合化電源	高出力化、高耐圧化 (ファンモータ用、 ステッピングモータ用)
表示関連	オーディオ／ビデオ用 IC	水晶発振用 IC
LCDドライバ、 B&W LCD用(カーオーディオ) VFDDドライバ (A/V機器) 白色及びRGB LEDドライバ	ビデオアンプ (車載カメラ、カーナビ等) 電子ボリューム(薄型TV、カーオーディオ、 AVアンプ) D級アンプ、DSP (薄型TV、カー オーディオ)	低電圧動作、 低消費電流、 高周波対応、 (光通信、デジタル機器)
半導体デバイス		
GaAs IC		光半導体デバイス
製品内容 LNA,ミキサ、受信系複合IC、 アンテナSW、各種スイッチ、 パワー アンプ、ドライバアンプ、 高集積高周波IC	用途 携帯電話向け高周波IC (W-CDMA,CDMA2000,GSM,PHS) その他用途向け高周波IC (無線LAN, Bluetooth, GPS等)	超小型センサCOBプリフレクタ (携帯電話用レンズモジュール) リモコン受光モジュール(A/V機 器等)、光ピックアップ用PD、 PDIC(DVD)、照度センサ

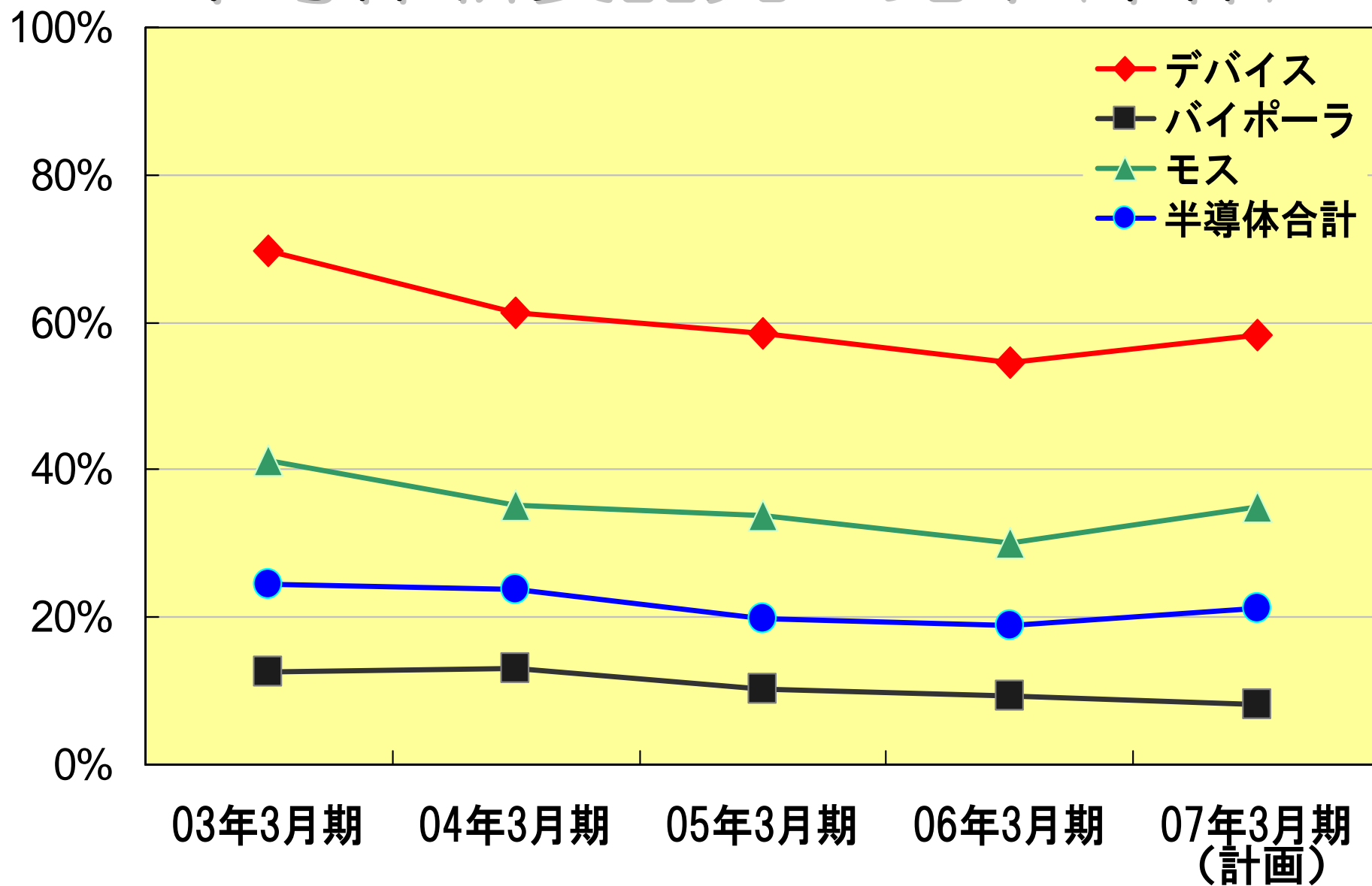
半導体事業展開

設計資産（主要製品群）

重点市場／今後の展開



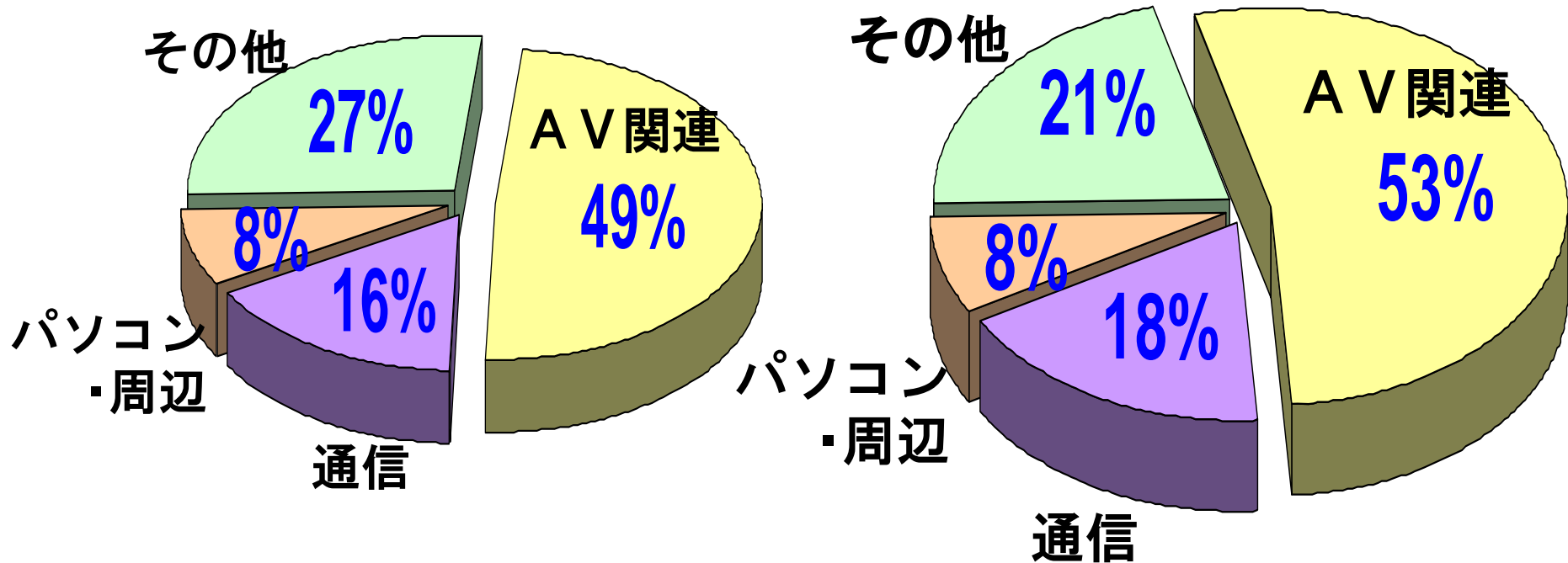
半導体新製品売上比率(単体)



半導体販売分野別状況

05年3月期

06年3月期



経営戦略～中期展望～

既存製品・市場の深耕と
拡販・シェアアップ

通信、産業機器、車載用等
新規応用分野への取組強化

- 顧客近接の設計拠点
 関西・SINGAPOREにデザインセンター設置
- 中国上海地区に営業支援拠点設置
- 長期視野に立った新規ビジネス分野の探索

注力分野(半導体)

産業機器用

高精度オペアンプ

従来製品より更に温度やノイズに対し安定して高い精度を保持

高速オペアンプ

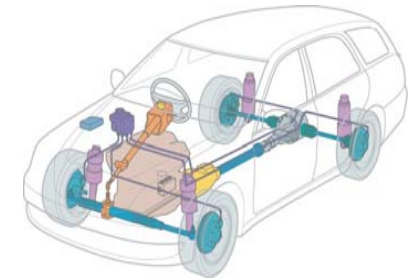
高温、高耐圧でも高い速度や性能を保持



車載用

カーナビ、カーオーディオ等アクセサリ向け製品に加え
自動車制御装置や安全機器向け製品に注力

- ・国内メーカーから採用拡大を狙う
- ・ISO/TS16949認証取得を計画



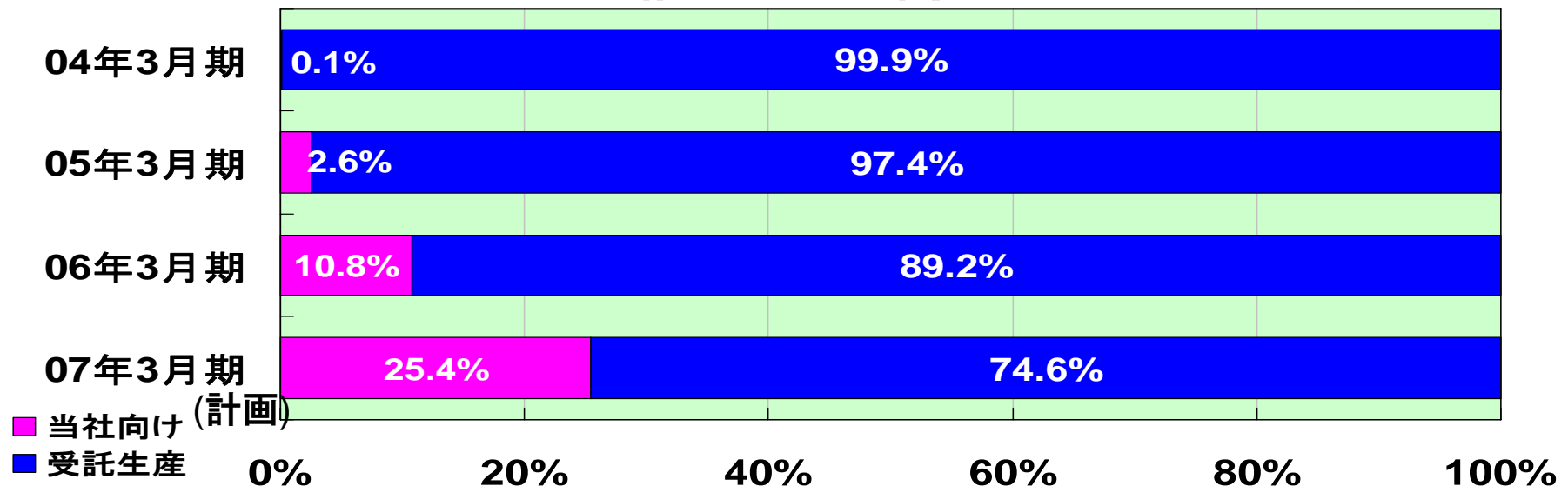
経営戦略～中期展望～

成長・モノづくり基礎体力の強化

THAI NJR CO.,LTD.生産能力増強

エヌ・ジェイ・アール福岡活用拡大

エヌ・ジェイ・アール福岡 当社向け生産の比率推移



経営戦略～中期展望～

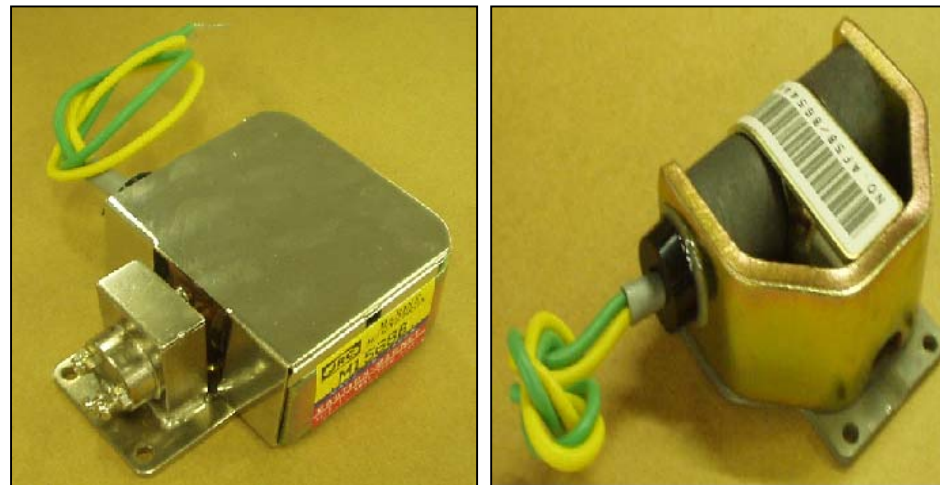
品質経営、環境経営実践

リスクマネジメントシステムの
整備・運用

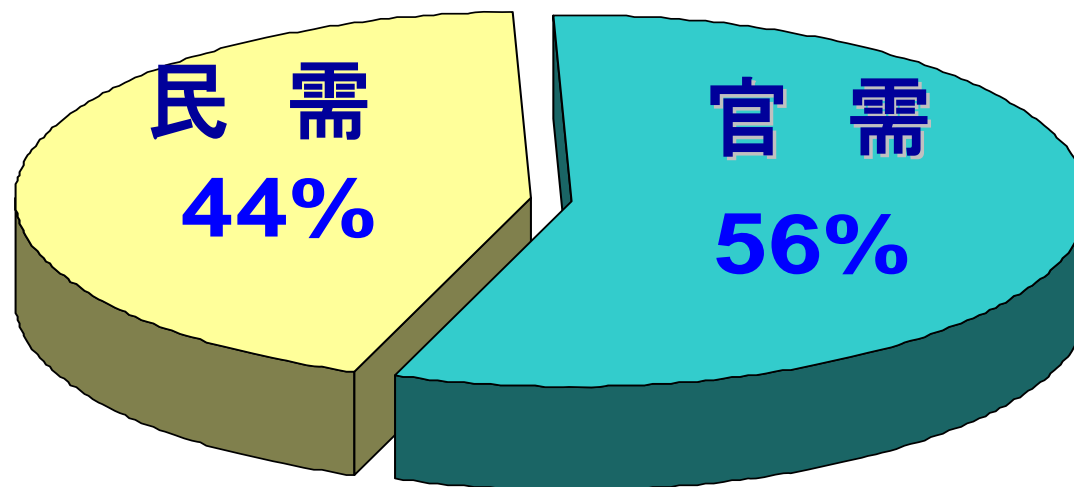
事業部門別状況

マイクロ波管

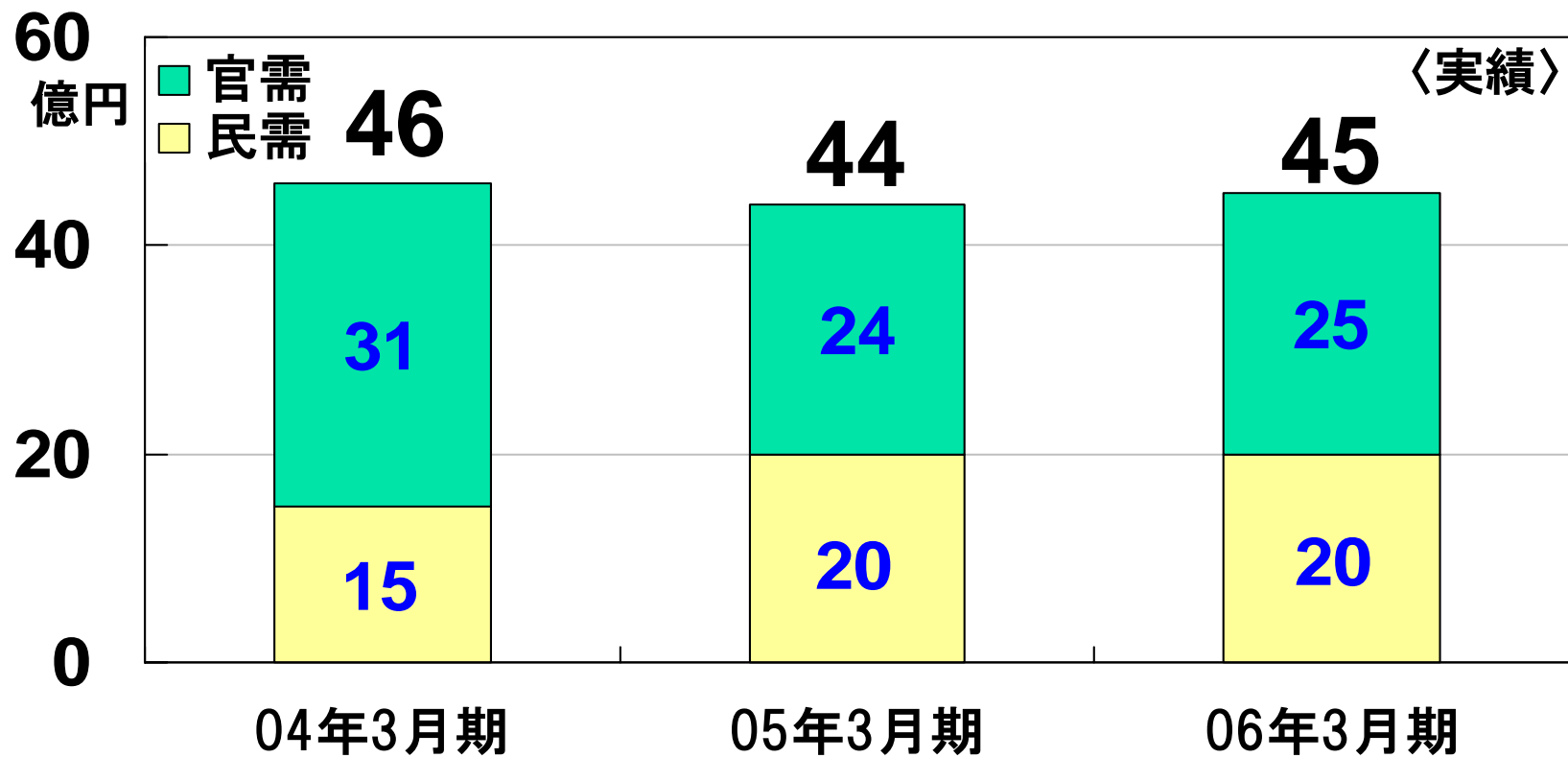
レーダ用部品が主体
マグネトロン, TWT, CFA,
レーダコンポーネント
官需用は国内3社に限定
民需用は国内1社、海外1社で寡占
(当社シェア 70%)



《06年3月期》売上構成比(連結)



マイクロ波管売上高推移(連結)



	04年3月期	05年3月期	06年3月期
官 需	31	24	25
民 需	15	20	20
合 計	46	44	45

事業部門別状況

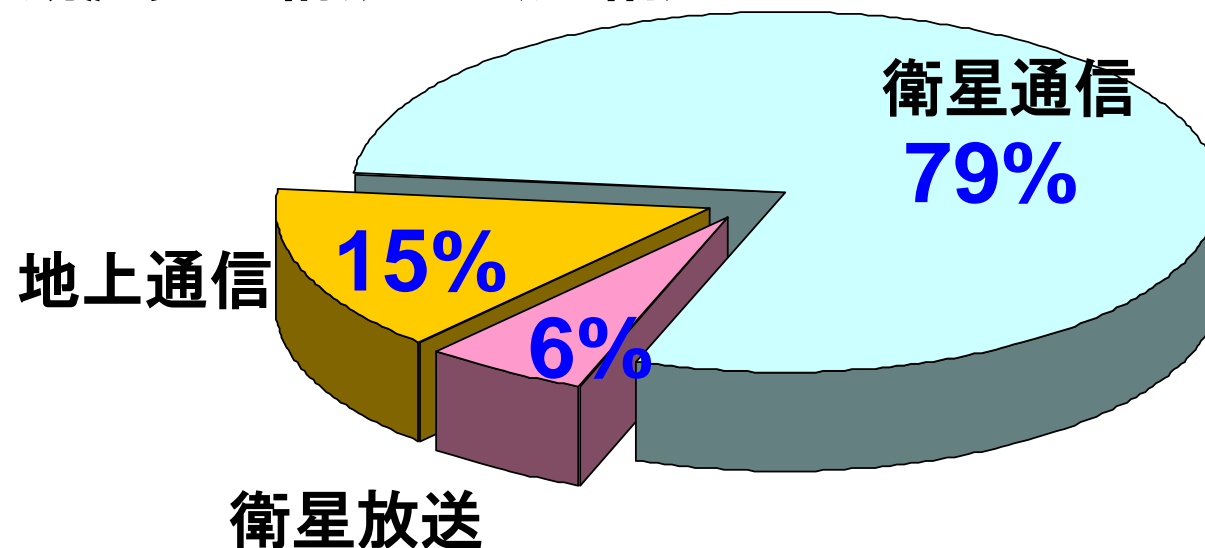
マイクロ波応用製品

衛星放送／通信用及び地上通信用送受信コンポーネント製品が主体

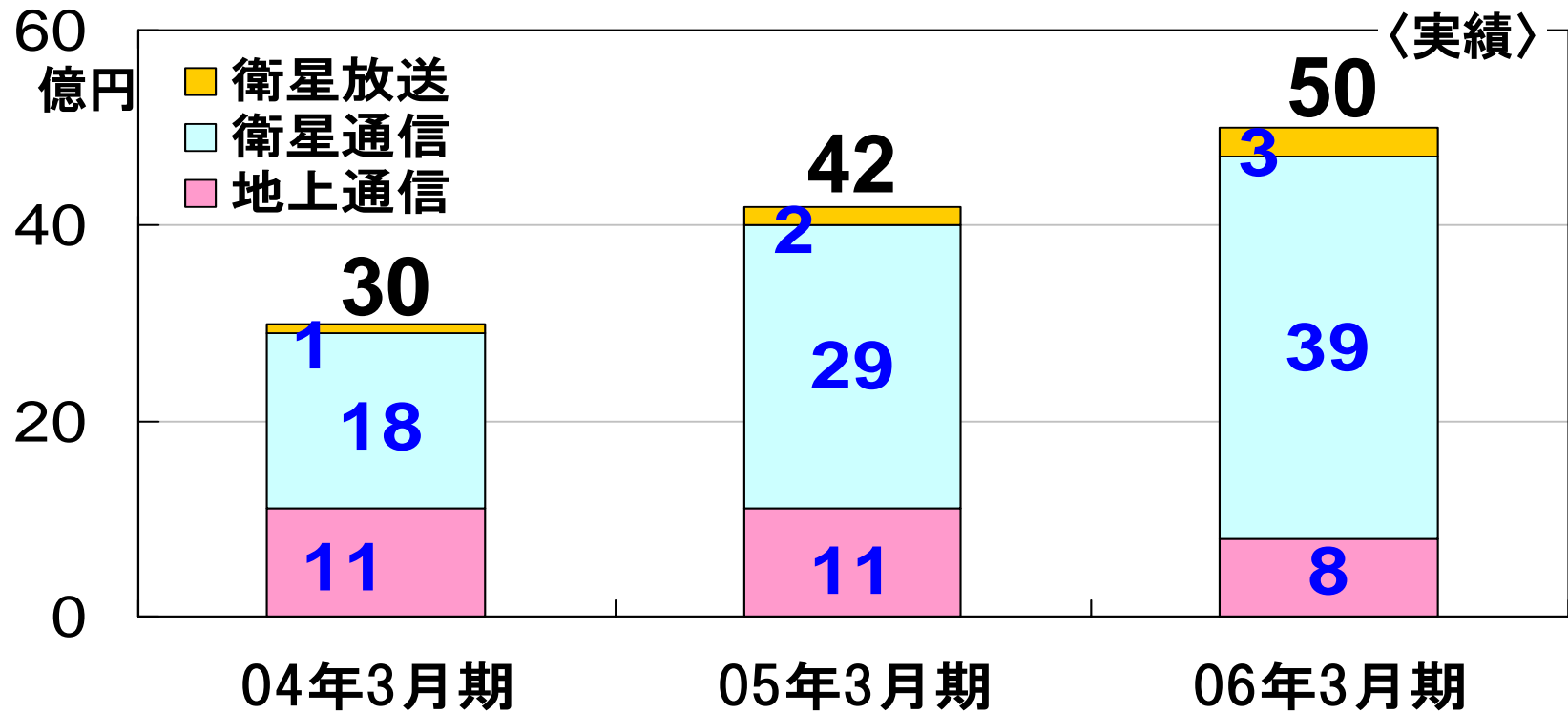
トランスミッタ、レシーバ、ローノイズアンプ



《06年3月期》売上構成比（連結）



マイクロ波応用製品売上高推移(連結)

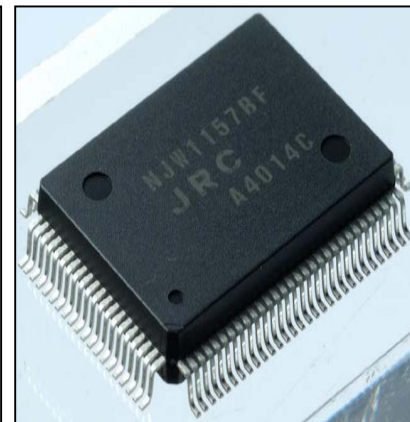
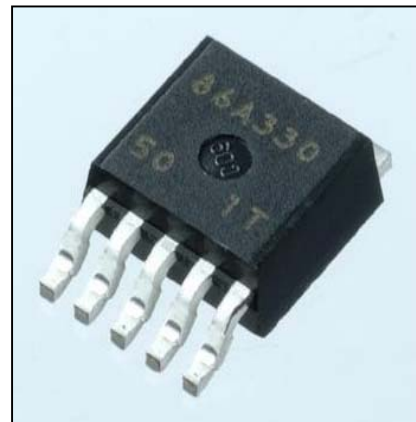


	04年3月期	05年3月期	06年3月期
衛星放送	1	2	3
衛星通信	18	29	39
地上通信	11	11	8
合計	30	42	50

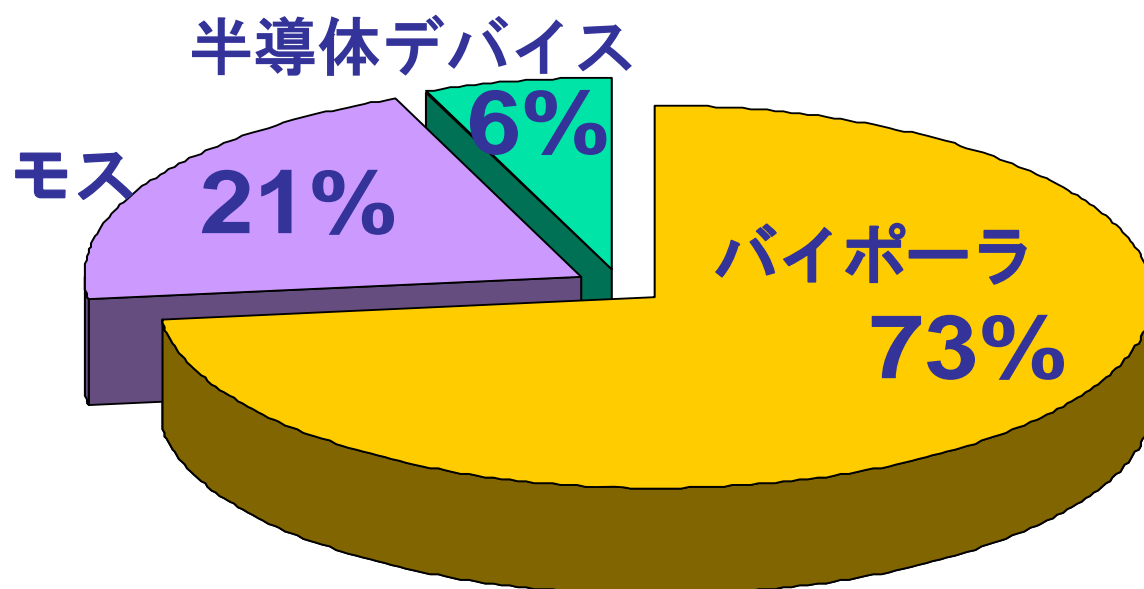
事業部門別状況

半導体

アナログ系汎用品が主体
オペアンプ／コンパレータ、
電源IC、
オーディオ/ビデオ用IC

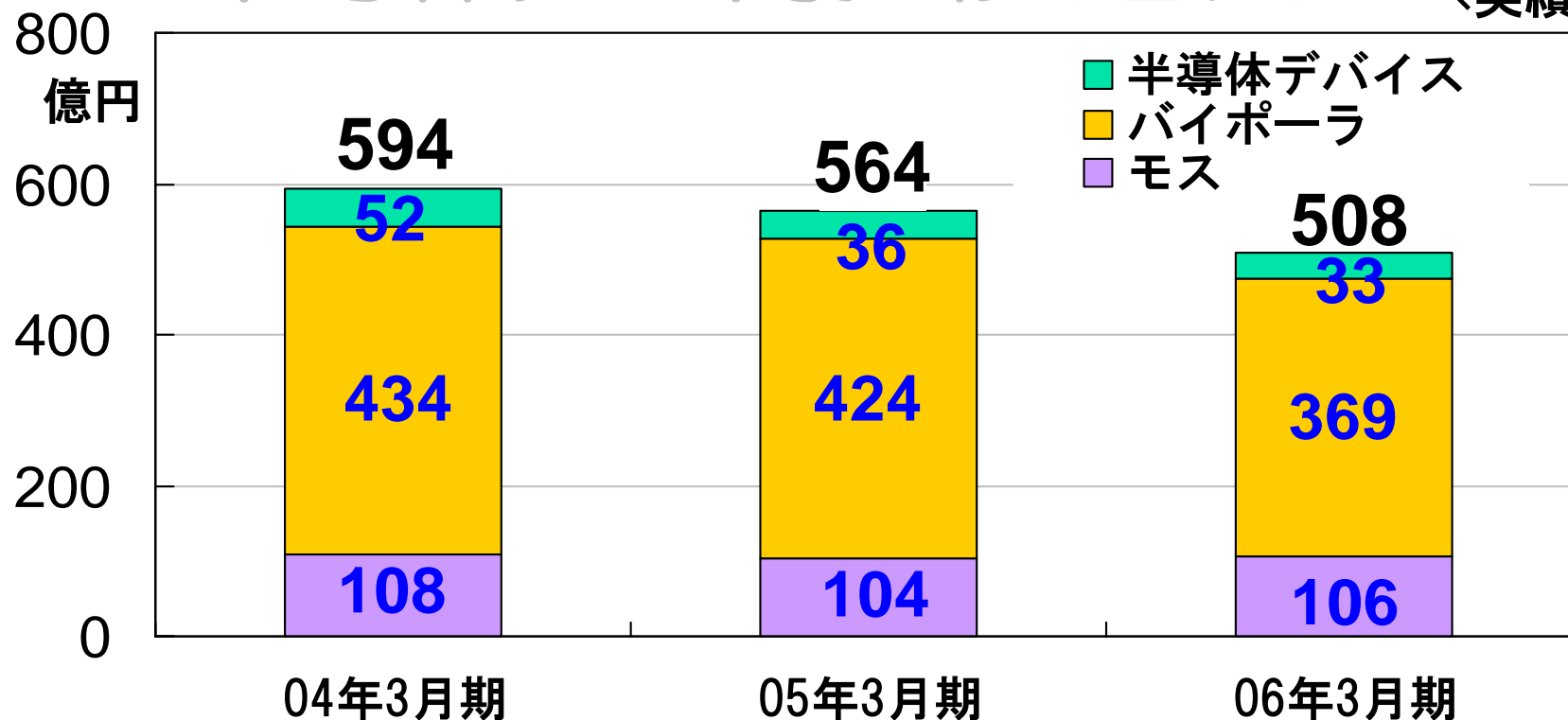


《06年3月期》売上構成比（連結）



半導体売上高推移(連結)

〈実績〉



	04年3月期	05年3月期	06年3月期
半導体デバイス	52	36	33
バイポーラ	434	424	369
モス	108	104	106
合計	594	564	508

会社概要

創 立	1959年(昭和34年) 9月	
	日本無線(株)より半導体,マイクロ波技術を継承。量産部品メーカーとして創立。以降、両技術を発展、応用させ規模拡大。	
沿 革	1991年11月	株式公開
	2000年10月	東証第 2 部上場
	2002年 9月	東証第 1 部上場
資 本 金	52億円 (日清紡績(株)出資比率 52.6%) ※平成17年12月9日付で当社株式が日本無線(株)から日清紡績(株)へ譲渡されたことに伴い、親会社が異動いたしました。	
従業員数	1,584名 (連結 3,071名)	
グループ会社(連結子会社)	半導体製造会社(前工程) 福岡の1社	
	半導体製造会社(後工程) 佐賀・タイ・秩父の3社	
	半導体販売会社 国内,シンガポール,米国の3社	
	業務受託会社 国内の1社	
売 上 高	2006年3月期	482 億円 (連結 603億円)
	2005年3月期	509 億円 (連結 650億円)

新日本無線株式会社

本社
東京都中央区



本社機構・半導体営業部門

川越製作所
埼玉県ふじみ野市



半導体製造前工程・研究開発部門
マイクロ波管部門
マイクロ波応用製品部門

グループ会社

販売子会社

(国内) (株)エヌ・ジェイ・アールトレーディング

(海外) NJR CORPORATION

NJR (SINGAPORE) PTE LTD

生産子会社

(国内) 佐賀エレクトロニクス(株)

(株)エヌ・ジェイ・アール秩父

(株)エヌ・ジェイ・アール福岡

(海外) THAI NJR CO.,LTD.

業務受託会社

(国内) (株)エヌ・ジェイ・アールサービス

グループ会社

佐賀エレクトロニクス(株)
佐賀県神埼郡

THAI NJR CO.,LTD.
タイ国ランブーン市



半導体製造後工程の主力工場



半導体製造後工程担当

グループ会社

(株)エヌ・ジェイ・アール福岡
福岡県福岡市



半導体製造前工程担当

新日本無線株式会社

ご静聴ありがとうございました。

－ 予想数値に関する注意事項 －

この資料に記載されている業績予想数値は、現時点で入手可能な情報をもとにした当社における推測・予測に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。

実際の業績は、様々な要因により、これらの予想数値とは大きく異なる場合があります。予めご承知の上、ご利用下さいますようお願い申し上げます。